

COVID-19により当院に入院された患者様へ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報などを研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名

入院治療を要した担癌患者における新型コロナウイルス感染症の予後に関する後向き観察研究

研究機関

市立札幌病院

研究代表者 市立札幌病院 消化器内科 部長 中村 路夫

研究事務局 市立札幌病院 消化器内科 村井 太一

研究の目的

入院治療を要した担癌患者における新型コロナウイルス感染症の予後を分析し、担癌状態であることが予後規定因子となり得るかどうか検証することを目的とする。

研究の方法

1 対象となる患者さん

COVID-19 感染症により当院に入院した患者様

2 調査データ該当期間

令和2年1月27日から令和2年2月25日

3 利用するカルテ情報

診断名、重症度、基礎疾患、既往歴、合併症、年齢、性別、身体所見、検査結果(血液検査、画像検査、生理検査)、臨床転帰など。

個人情報の取り扱い

氏名や住所などの直接患者様の特定につながる個人情報は削除いたします。研究成果は学会などで発表いたしますが、その際も個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

病院代表 011-726-2211

北海道札幌市中央区北11条西13丁目1-1

市立札幌病院 消化器内科 村井 太一